

老年医学

責任者・コーディネーター		脳神経内科・老年科分野 前田 哲也 教授		
担当講座・学科（分野）		脳神経内科・老年科分野、臨床腫瘍学講座、臨床検査医学講座、泌尿器科学講座、外科学講座、整形外科学講座、衛生学公衆衛生学講座、薬学部臨床薬学講座臨床薬剤学分野		
担当教員		前田 哲也 教授、佐々木 章 教授、諏訪部 章 教授、板持 広明 教授、工藤 賢三 教授、小野田 敏行 客員教授、杉村 淳 准教授、大竹 伸平 助教		
対象学年	4	区分・時間数	講義	8コマ 12.0時間
期間	前期		演習	0コマ 0.0時間
			実習	0コマ 0.0時間

・学習方針（講義概要等）

老年医学は、生体の加齢変化とその機序の解明、老年者の診断・治療における問題点とその対策、保健・福祉上の諸問題とその対策などを対象とする学問である。

・教育成果（アウトカム）

生理的な加齢変化、老年者の特徴を学び、神経疾患、感染症、悪性腫瘍、泌尿器疾患、骨疾患など老年者に多い疾患・症候について説明できる。それを応用することで、老年者に対する薬物療法、外科的治療と麻酔に関する注意点などについて説明できる。

（ディプロマ・ポリシー： 1,2,3,4,5,6,7,8 ）

・到達目標（SBOs）

No.	項目
1	寿命と加齢変化について説明できる。
2	加齢に伴う神経疾患について説明できる。
3	老年者の特徴、症候、治療、注意点を十分把握して説明できる。
4	老年者の免疫、感染症の重要事項や問題点を説明できる。
5	老年者の臨床検査値の特徴を説明できる。
6	老年者の外科における診断と治療における重要事項や問題点を説明できる。
7	老年者の腎機能、排尿機能及び性機能の特徴を説明できる。
8	老年者の悪性腫瘍の特徴を説明できる。
9	老年者における薬物療法の注意点を説明できる。
10	老年者の骨粗鬆症における骨折、関節症の特徴と問題点を説明できる。
11	老年者の保健・福祉・介護について重要な事項を説明できる。
12	老年者の特徴をふまえた診察について説明できる。

・ 講義場所

講義：東1-D講義室

・ 講義日程（各講義の詳細な講義内容、事前・事後学習内容、該当コアカリについてはwebシラバスに掲載）

区分	月日	時限	講座（学科）	担当教員	講義内容	到達目標番号
講義	5/7(木)	3	脳神経内科・老年科分野	前田 哲也 教授	加齢と神経疾患	1,3,8,9
講義	5/20(水)	3	臨床腫瘍学講座	板持 広明 教授	老年者悪性腫瘍	1,2,3,12
講義	5/20(水)	4	臨床検査医学講座	諏訪部 章 教授	老化と免疫、老年者の感染症、老年者の臨床検査値	1,4,5,9
講義	5/27(水)	3	泌尿器科学講座	杉村 淳 准教授	老年者の腎・排尿・性功能	3,7
講義	5/27(水)	4	外科学講座	佐々木 章 教授	高齢者の外科	2,3,5,6,7,12
講義	6/1(月)	2	薬学部臨床薬学講座 臨床薬剤学分野	工藤 賢三 教授	老年者と薬物療法	3,9
講義	6/3(水)	3	衛生学公衆衛生学講座	小野田 敏行 客員教授	老年者と薬物療法老年保健福祉介護	3,9
講義	6/5(金)	5	整形外科科学講座	大竹 伸平 助教	老年者の骨折、骨粗鬆症と関節症	1,3,6,10,12

・ 教科書・参考書等

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教科書	ハリソン内科学第5版	福井次矢、黒川 清 監修	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2017
教科書	朝倉内科学（第11版）	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2017
推薦図書	新老年学 3版	大内尉義、秋山弘子 編	東京大学出版会	2010
推薦図書	老年医学テキスト 改訂3版	日本老年医学会 編	メジカルビュー社	2008
推薦図書	老年医学への招待	中村重信、三森康世 著	南山堂	2010
推薦図書	老年期の薬物動態学	Wolfgang A. Ritschel著、岩本文一 訳	薬業時報社	1991
推薦図書	標準外科学 第15版	北野正剛 監修、坂井義治、田邊稔、池田徳彦 編集	医学書院	2019
推薦図書	標準泌尿器科学 第9版	赤座英之 監修	医学書院	2014
推薦図書	ベッドサイド泌尿器科学 改訂4版	吉田修 監修	南江堂	2013
推薦図書	高齢者の麻酔：これからの時代に対応するために	稲田英一 著	真興交易医書出版部	1995
推薦図書	国民衛生の動向2018/2019（「厚生指標」臨時増刊号）	厚生労働統計協会 編	厚生労働統計協会	2018
推薦図書	高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015	日本老年医学会 編	メジカルビュー社	2015
推薦図書	老年腫瘍学	田村和夫、鍋島一樹、鈴宮淳司 編集	文光堂	2008
推薦図書	神経内科ハンドブック 第5版 鑑別診断と治療	水野美邦	医学書院	2016

・成績評価方法

総括評価：試験成績により評価する。

形成的評価：講義中に口頭試問や議論形式の評価を行い、学生にフィードバックする。授業参加態度についても評価する。

・特記事項・その他

1. 寿命、加齢変化
2. 老年者の特徴、症候、治療、留意点
3. 老年者の介護・福祉
4. 老年者の排尿障害
5. 老年者の骨折、骨粗鬆症と関節症
6. 老年者の免疫、感染症
7. 老年者の臨床検査値
8. 老年者と薬物療法
9. 老年者と悪性腫瘍
10. 老年者と外科

シラバスに記載されている事前学修内容および各回到達目標の内容について、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低30分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。なお、適宜、講義・実習冒頭で事前学修内容の発表時間を設け、授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。授業では、医学教育モデル・コア・カリキュラムの内容に留まらず、必要に応じて最新の医学研究成果を教示する。

・教育資源

教科書・参考書、講義室、実習室、PC、インターネット環境

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
登録済の機器・器具はありません			